



イトマン

奈良ブロック新聞

2023年6月

成長過程で大切な事とは・・・

みなさんご存知でしょうか。

一番大きく脳が成長・発達するのは、生まれてから6歳頃までと考えられています。この時期に周りの大人たちが子どもと上手に関わり、上手に脳に刺激を与えて育ちを促すことは、その子の無限の可能性、才能を伸ばすために重要です。では、才能を引き出すため、2つの脳を鍛えることが重要なポイントだそうです。脳は構造や機能の違いから「古い脳」と「新しい脳」に分けられます。幼児期は特に「古い脳」をしっかり育てることが肝心です。

◎古い脳→五感からの刺激で育つ

呼吸や睡眠、食欲や情動など生きるための基本機能を担っています。

◎新しい脳→親の行動によって育つ

言語や手指を使った細かい動きなど、人間ならではの機能を担っています
(親の言葉や仕草を見聞きすることで育つ)

◎前頭葉→論理思考をはじめとする高度な機能を司る

人間社会で上手くやっていくための「心」を担う重要な部分です。



～大きくなったら差がつく、「脳育て」で欠かせない3つのこと！～

①規則正しい生活で、まずは「古い脳」を鍛えよう

⇒脳に五感(寝る、起きる、食べる、遊ぶ)からの刺激をたくさん入れましょう。

★学力がみにつかない・・・心身の不調を訴える・・・そんな子どもたちの原因は

大人の生活リズムに合わせた適当な生活を送っていても、完成した時の脳はバランスが悪く不安定

↓つまり・・・

手がかからない子になる



②会話と遊びで、「新しい脳」を育てよう

⇒大人の言葉や仕草が、重要な脳への刺激で、多く刺激が入れば脳の高度な機能が無限大に発達!

★遊ぶときには、親も手足を動かして身体を触れ合わせるような遊びをすると、刺激がたくさん入って効果的!

↓つまり・・・

・学習の土台が出来上がり、小学校での勉強にすんなり移行しやすい脳になる。

・好奇心旺盛になり、身体も活発に動かすので、更に刺激が入り、「良い脳」に育ちやすくなる。

③論理思考の土台を作って、心を強くしよう

⇒前頭葉は、論理思考や計画性など駆使して問題を解決し、社会でうまくやっていくために必要な脳の部位

★きちんとした文章で自分の意思を正確に伝えさせることが大事です。

↓つまり・・・

・学習に大切な論理思考が得意になり、ネガティブな感情が起こった場合に、自ら安心を作れる
脳へと育つ

・大人から理論をきちんと伝え、こどもも的確に意志を伝えることができると、子どもの情緒が
安定し、相互関係が生じる

